

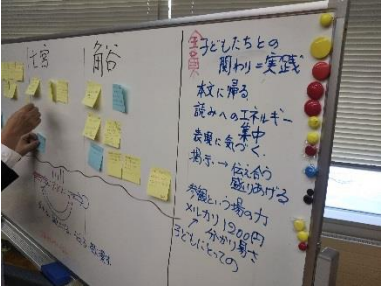
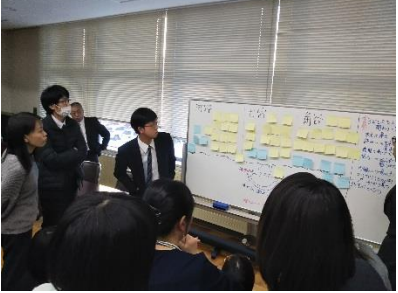


中学校国語科教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	『主体的な学び』を深めるための授業づくり	
日時	平成31年1月31日(木)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	川村 佳広 氏 (江別市教育委員会) 河野 忍 教諭 (江別市立大麻中学校) 角谷 尚子 教諭 (北広島市立大曲中学校)	
参加者	22名	
研修会 の 様子		今回の研修のテーマは『学び続けること』です。生徒全員が生き生きと学び、課題解決に向けて努力を続けられるような授業の構築のために、石狩管内の先生方に実践の提言を頂きながら、私たち自身も「学び合おう」というものでした。
		初めに、大麻中学校河野忍先生の実践提言。河野先生はこれまでに多くの学校に勤務され、毎回「この1年が勝負」の気持ちで教材研究にこだわって実践を重ねられてきました。今回はその数ある実践の中から、『故郷』でのカルタを用いた実践を紹介していただき、生徒たちが親しみやすい「カルタ」作成を通じて主題に迫っていく様子を参加者で共有することができました。
		次に恵明中学校七宮先生の実践を川村先生からご紹介頂きました。教師側のしかけによって、生徒たちをのせる「全校群読発表会」の取組を学びました。
		最後は大曲中角谷先生の「まわしよみ新聞」の実践です。新聞を活用し、社会の出来事に興味を持たせ、自分の考えをもち、また他者の様々な考えに触れることの大切さを学ぶことができました。私たち国語教師は「この教材で」何を子どもたちに伝えるのか、という視点を常に大切にしなければなりません。川村先生、河野先生、角谷先生お忙しい中貴重なお話を聞かせて頂き、本当にありがとうございました。